

2017年  
(平成29年度)

5月

# ほそだだより

〒653-0835

神戸市長田区細田町5丁目2-4

社会福祉法人 愛児会

幼保連携型認定こども園 ほそだ

TEL(078)641-6666

## 保育理念

～子どもの今と未来をつなぐ～

## 保育方針

～受容と尊重～      ～自己の発揮～

～思いやり～

～支え合い、感謝する～

さわやかな風に吹かれながら泳ぐこいのぼりと一緒に、子ども達も元気いっぱい走り回っています。

新しい年度がスタートして早一か月が経ち、一つ大きくなり張り切って活動を楽しむ子ども、身の回りの事を自分でやってみる子ども、お家の人と離れ不安で泣く子ども、「まま、くる？」と繰り返す子ども…進級児も入園児も、新しい環境での生活に期待や不安を感じながら過ごす様子が見られました。色々な気持ちを感じながら4月を過ごしたのは、子ども達だけでなく保護者の皆様も同じではないのかと思います。

“大丈夫かな、泣き止んだかな。” “ごめんね、頑張ってる。” “早く慣れてほしいな。”

泣いている我が子を見ながら後ろ髪を引かれる思いで園を後にし、子どもと離れて気が気ではなく、早くお迎えの時間がこないかなと何度も時計を気にしながら落ち着かない時間を過ごされたことでしょう。

でも大丈夫です、安心してください。どの子も日に日に様子が変わり、毎日見る先生、友達、保育室に少しずつ安心を感じ、朝の別れで泣いてしまっても泣き止んで遊び始め、元気な声や笑い声、笑顔が広がっています。そんな姿を見ていると、一人一人が持っている心の強さやたくましさを感じ、子どもの力に感心させられます。

「子どもの気持ちに寄り添う」関わり。言葉では簡単に言う事ができますが、実際は難しくとても深いものだと考えています。例えば、泣いている子どもに寄り添うには、泣き止むまでただ抱っこをする事で気持ちに寄り添えているのでしょうか。

皆が皆抱っこを求めるのではなく、背中をさすると落ち着く、手をつなぐと安心する、話を聴くと納得する、中には一人にしてほしい(もちろん目の中に入れてながら見守ります)…等、一つの姿にも160人それぞれに違った寄り添い方があるのだと考え、どのようなタイミングで、どのような関わりをすることがその子の気持ちを汲み取れるのかということ瞬時に捉え、これでいいのかと自分自身に問いかけながら、日々子ども達と過ごしております。大人でも集団にしんどさを感じる時があるのと同じように、子ども達にとっても消化しきれない思いを感じる瞬間や辛い時があり、昨日はよかったことが今日は違うという状態も多々あり、そんな気持ちを理解しながら、寄り添えた関わりができる職員集団でありたいと思っています。

子ども達は、一人一人の個性の違いをまるごと受け入れることで安心感へ繋がり、自分を出しながら心も体も成長していくものだと思います。

まだまだ至らない事も多々あるかと思いますが、ご家庭と園とで手を携え、子ども達の“今”感じている感情を大切にしながら今後も一生懸命に保育させて頂きたいと思っております。子ども達の今と未来が繋がるために…

主幹保育教諭 荻野千春

職員一同

## ＜5月の予定＞

日	曜日	行事名	対象クラス	内容
1	月	発育測定(10日まで)	全園児	身長、体重、胸囲を測ります。※3～5歳児は出席ノート、0～2歳児は発育記録カードにてお知らせします。
		幼児体育遊び	3～5歳児	体育講師の馬場先生と運動遊びを楽しみます。
2	火			
3	(祝・水)	憲法記念日		
4	(祝・木)	みどりの日		
5	(祝・金)	こどもの日		
6	土			
7	日			
8	月			
9	火			
10	水			
11	木	クッキング	5歳児	自分でこねた白玉と果物を混ぜて、フルーツポンチを作ります。
12	金	食育体験	4歳児	夏野菜(なす、きゅうり、ピーマン、トマト)の種や苗を植えます。
			5歳児	お米の発芽を観察した後、夏野菜(なす、ピーマン、トマト)の苗を植えます。
13	土			
14	日			
15	月			
16	火			
17	水	親子のつどい	全園児	詳細については4月28日に配布した発信文書をご確認下さい。
18	木			
19	金	絵本の読み聞かせ	4、5歳児	新長田図書館の方に絵本や紙芝居を読んで頂き、お話の世界を広げます。
20	土			
21	日			
22	月			
23	火			
24	水			
25	木	誕生会	全園児	5月生まれの友達をみんなで祝います。
26	金	内科健診(14:00～)	全園児	学校医である朝日診療所 姜先生の健診を受けます。
		食育体験	5歳児	お米の苗や根っこを観察した後、ミニトマトの種を蒔きます。
27	土			
28	日			
29	月	避難訓練	全園児	火災を想定した避難訓練を行います。
30	火			
31	水			

### ○お願い

月末に請求させていただいている保育料や日割り延長保育料は、5月1日より、タッチパネルを操作した時間で計算します。必ず保護者様の手で操作していただき、間違いのないようお願いいたします。誤って操作された場合、すぐに職員までお知らせください。

# クラスだより

## ひよこ組

朝「〇〇ちゃんおはよう」と声を掛けると、にこっと可愛らしい笑顔が見られるようになりました。毎日一緒に過ごしている先生の抱っこや語りかけに安心を感じ、「あーあー」などとお話したり、歌をうたうとにこにこ笑顔で手をぱちぱちさせたり、機嫌良く過ごす時間も増えてきて、お部屋の中はほんわかとした雰囲気が広がっています。

また、食事の時には“あ～ん”と大きな口を開け、モグモグと食べる姿が見られ、園での生活に慣れてきたことを感じ、嬉しく思います。これからも安心感の中で、毎日を機嫌よく過ごせるように、スキンシップや語り掛けを大切にしながら過ごしていきます。

田中 岩本 後藤 谷村 岡部

## りす組

お家の人と離れるのが寂しくて泣いていた子どもも少しずつ新しい環境に慣れ、元気な声がたくさん聞こえます。歌が流れると、リズムに合わせてお尻をフリフリしながら体を動かす姿や「いっぽんばしこちょこちょ」の手遊びで、楽しそうな友達の声が聞こえてくると、“僕もやってほしいなあ！”と、手のひらを出して自分の順番をワクワクしながら待つ可愛らしい姿が見られています。興味のある遊びを通して感じたことを体や表情で表現しながら楽しむ子ども達の、“嬉しい”“楽しい”“やってみたい”思いを大切に、一緒に共有しながら過ごせるようにしていきます。

掛 八木 池田 渡邊 後藤

## うさぎ組

子ども達から「先生！」と呼ぶ声と共に素敵な笑顔で私達のところに集まってくる姿が見られ、毎日の活動を楽しんでいます。「お外行くよ！」と声を掛けると、「やったー！」と帽子や靴を準備し、嬉しそうに園庭に駆け出していきます。春の心地良さを感じながら友達と手を繋いで散歩をしたり、しっぽとりやおいかけてっこをしたりして身体を動かすことを楽しみ、一生懸命しっぽをとられないように逃げる姿や花などの自然物を見つけた時のやりとりはとても可愛らしく、楽しかった思いや、驚きを嬉しそうに伝えてくれます。

子ども達が見つけた喜びの気持ちに共感し、毎日が楽しく過ごせるようにゆったりと一人一人との時間を大切に関わっていきたいと思います。

田邊 大須賀 梁瀬 塩田 荒牧

## ばんだ・ばんび組

2階の部屋に上がり、最初は少し緊張していた子ども達も少しずつ慣れ、「今日は何するの～？」と毎日の活動を楽しみに過ごしています。「トントン前！」と元気いっぱい声を出しながら園庭で列になって並んだり、「どれにしようかな～？」と、出席ノートに貼るシールを真剣に悩んだりする姿はとても可愛らしいです。

また、「上靴きれいに並べたよ！」「お着替えできたよ！」と、身の回りのことにも“自分でやろう”と意欲的に取り組んでいて、色々な新しいことが嬉しくて、ワクワクする気持ちが伝わってきます。自分でやりたい、でもまだまだ甘えたい、して欲しいという気持ちを十分に受け止めながら、日々の生活を積み重ね、共に一步一步成長していきたいと思います。

石黒 原

### きりん組

進級した喜びがいっぱいで、毎日グループごとのお当番活動を頑張っている子ども達。「今日のお当番は何グループ？」と子ども達から声が出て、「今日のグループは〇〇グループだよ」と伝え、「やったー！」と積極的に活動する姿がたくさん見られます。

また、きりん組になって、毎日取り組んでいる“鉄棒チャレンジ”。握り方や約束事を子ども達と一緒に確認し、“何秒ぶら下がるかな？”と鉄棒にぶら下がり、数字を数えます。すぐに足がついてしまう子どももいますが、「もう一度！」と何回も挑戦しようとする姿から、諦めずに、一生懸命頑張ろうとする様子を感じられます。“やってみたい”“がんばるぞ”という思いを大切にしながら、色々な鉄棒での遊びを楽しみ、目標である前回りに繋いでいきます。 樽

### ぞう組

憧れのぞう組になってやる気いっぱいの子供達。「ぞう組になったからピアノ頑張るよ」「竹馬にも早く乗ってみたい」と挑戦することを楽しみにしています。

先日、食育体験で田んぼ作りをし、友達と協力して袋に入った重たい土を「重たいけど力持ちやから大丈夫」「自分たちのお米やから頑張るぞ！」と、1階から3階の屋上まで声を掛け合いながら運びました。そして、その後田んぼに手を入れて土をほぐす作業では、土の中の冷たさや柔らかさ、におい等、様々な感触を味わい、五感を使って楽しむことができました。

栽培を通して、育てる難しさや大変さを経験し、普段当たり前のように食べているお米の一粒の大切さを感じ、食べることに感謝の気持ちをもてるようにしていきたいと思っています。 伴

### 調理室

新しいクラスでの生活にも少しずつ慣れてきた様子で、給食を完食する姿やおかわりをする姿が見られ、意欲的な子ども達の姿を見ていると嬉しく思います。先日、ぞう組の子ども達は初めてのクッキングでクッキー作りに挑戦しました。材料を混ぜ、生地が出来上がって変化していく様子を見たり、好きな形に型抜きをしたりして楽しみました。自分で感じた事を言葉に出し、子ども同士で発見や驚きを共有しながら進める姿に大きな成長を感じました。

これからも、子ども達が見たり食べたりして感じた事をたくさん引き出していけるよう関わっていききたいと思います。 酒井 小倉 倉田

